

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

7月の生活目標

やさしい子

『進んで仕事をしよう』

たくましい子

平成25年6月28日

第4号

川越市立高階南小学校

大切にしたい「我が家の家風」

先日も「子どもが、友達に誘われてゲームセンターに行きたいと言うので困っています。」というお話がありました。

本校では、「子どもだけでゲームセンターに行かない。」という約束があります。「〇〇ちゃんの家は行っていいって言ってる。」と言うお子さんの要望に対してこのお宅は「うちはダメ。」と言っているそうです。これを受けて「我が家の考えはこうだ、と明確に伝え、自信を持って指導してください。」とお話しました。困っているからこそのご相談ですが、「我が家は」の一言が、そのお宅ごとの家風と相まって、説得力を増したようです。

「風俗営業等の規則及び業務の適正化等に関する法律及び同施行条例」ではゲームセンターへの深夜入店の禁止（16歳未満は午後6時から翌日の日の出の時）が定められ、違反者には6か月以下の懲役又は50万円以下の罰金が科せられます。夜間の子ども入店にはお店側も神経を尖らせているようです。

では午後6時までであれば、子どもだけでゲームセンターに行くことを許すべきなのか。答えは、否です。集団で生活する以上、その集団としてのルールを尊重すべきです。それが社会通念から鑑みて、常道を逸するものであれば偏狭なルール遵守に固執することは避けなければなりません。社会情勢や児童の発達段階を考えたとき、やはり「子どもだけでゲームセンターに行かない。」という学校のルールを守らせるべきでしょう。

学校でも社会でもルールの根底にあるものは、子どものよりよい成長を願う気持ちです。社会の荒波を越える力は様々な経験の中から生まれるものですが、健全な順法精神の重要性をしっかりと押さえた上で、各ご家庭で保護者の皆様のお考えを子どもたちに伝えてください。



バスケットボール大会

命の大切さを考える。

市内の小中学校でも、交通事故が頻発しています。今のところ本校では大きな事故に巻き込まれたという情報はありますが、

- ・自転車で走行中、交差点で一時停止をせずに走り抜ける。
- ・車の有無を確かめずに道路を横断する。
- ・おしゃべりに夢中で車道に広がって歩く。

など、一歩間違えば、命に関わるような事故に遭いかねないケースが報告されています。

一方、日々の生活の中で、友達関係に悩んだり、トラブルになったりする場面も見られます。時には喧嘩もあります。

誰もがかけがえのない命を与えられ、この世に生まれてきています。唯一無二の存在です。不注意による交通事故に遭ったり、心ない言葉で誰かを傷付けたりしてはいけません。ご家庭でも繰り返し繰り返し命の大切さについてご指導をお願いいたします。



学校栄養職員による食育指導



2年生町探検



6年生土器の野焼き



5年生国際交流



学校評議員の委嘱